

教育目標『夢や目標をもって自ら学び、心豊かで、たくましい児童を育成する。』

美里町立南郷小学校



らぶらぶー南郷 2014

学校だより

〈第12号〉

平成26年10月10日

文責 教頭 高松 祐士

〒989-4205 美里町木間塚字高田5 Tel 0229(58)1106 Fax 0229(58)0461 <http://nango-es.misato-ed.jp>

笑いあり涙あり思い出に残る最高の学芸会 いよいよ本番!!



平成26年度の一大イベントの一つでもある学芸会一般公開がいよいよ明日に迫りました。子供たちは9月から準備や練習を始め、保護者の皆さまに自分のがんばっているところを觀てもらおうと一生懸命取り組んできました。明日は、ぜひ会場にお出でいただき、子供たちの精一杯のパフォーマンスに拍手を送り、声援や励ましをいただければと思います。

プログラムのおおよその開始時間をお知らせいたします。明日は演技進行上、開始時間に多少の変更があるかもしれませんので、時間に余裕をもって早めにご来校いただきますようお願いいたします。

No	学年	演 技 名		演技始予想時間
1	マチソク	Happy School ♪		8:45
2	1年	はじめのことば		9:00
3	1年	劇	「アイウエオリババ」	9:10
4	2年	表現	「魅せます! 二年生の力」～心をひとつに～	9:35
5	校長あいさつ			9:55
6	全学年	全校合唱	「花は咲く」	10:00
7	3年	劇	「たぬきばやし」	10:15
8	4年	合唱奏	「とどけ ぼくたちの心」	10:35
9	5年	劇	「もういちど ハッピーバースディ」	10:55
10	PTA会長あいさつ			11:20
11	6年	劇	「走れ メロス」	11:25
12	6年	おわりのことば		11:55

おめでとう

昨日、夏休みから2学期前半に子供たちが活躍し、いただいていた賞状の伝達を行いましたので、紹介いたします。

ちびっこ相撲 2年生個人優勝 横山 翔 君

6年生個人準優勝 佐々木 恒 輔 君

1年生個人第3位 佐々木 夏向花 さん

みんなの作品展 入選 1年 川崎 憂 雅 君 ・ 3年 小川 路 夢 君

" 5年 榊田 琢 巳 君 ・ 6年 三浦 秀 斗 君

全日本バンドフェスティバル宮城県大会 銅賞

「平成26年度学力・学習状況調査の結果」について(南郷小学校の結果概要)

心の成長が見えてきた!!

4月に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。基本的生活習慣や学校生活、言語活動、自尊意識、規範意識など、多くの項目で全国や県の平均よりも高い数値となりました。

特に、「いじめはどんなことがあってもいけない」や「協力して何かをやり遂げ、嬉しかった」「自分のよいところを認めてくれている」等のポイントが高く、心の成長が全国や県のレベルより上になっていることが分かりました。このことは、本校の強みになっています。

『学力』と『心の成長』は両輪で働きます。学力にも心の成長がよい影響を与えており、国語は全国や県とほぼ同じ結果で、算数では全国や県を上回る結果となりました。詳しい結果分析と考察、改善策等については下記のとおりです。

1 教科の領域別における分析結果と学習指導に当たって ◇…おおむね理解している点 ◆…課題のある点

(1) 国語科

①主として「知識」に関する問題

＜話す・聞く＞ ◇「話し合いの観点に基づいて情報を関係付ける」はおおむねできている。

- ・出された意見や考えを図に分類したり、表にまとめたりするように指導する。また、日頃から話し合いの内容などをノートやメモに整理して書く習慣付けをさせる。

＜書くこと＞ ◇「文章の構成を理解し、適切な表現にして書く」ができている。

◆「情景描写の効果を捉える」が十分できていない。

- ・物語の表現として、登場人物の行動や会話、情景などの表現を指導し、物語の創作などで活用させる。

＜読むこと＞ ◆「新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える」が十分できていない。

- ・自分の主張を効果的に伝えるための表現の工夫を捉えることができるように指導する。
- ・書き手のものの見方や考え方について賛成したり反対したりしながら読むようにさせる。

＜言語事項＞ ◇漢字の読み書きはおおむねできている。

◆分からない意味の故事成語がある。

- ・関心のある故事成語を取り上げて物語や4コマ漫画を作り、その使い方の適否について話し合い活動をする場面を設ける。

②主として「活用」に関する問題

＜話す・聞く＞ ◆「話し手の意図をとらえながら聞き自分の意見と比べる」では、できていない。

- ・「質問や意見」の活動で、立場や意見の違いを明確にさせる。例えば、相手の意見を引用させたり、根拠となる事実を明確にさせたりすることが大切である。

＜書くこと＞ ◆「目的や意図に応じて詳しく書く」では、できていない。

- ・自分の考えとの共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理した上で、自分の考えをまとめさせる。
- ・事実と感想、意見などを区別してとらえさせる。

＜読むこと＞ ◇「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえる」では、おおむねできているといえる。

- ・児童が主体的に必要な情報を収集し整理する中で、自分の考えの深まりを実感させる。

＜言語事項＞ ◇「語感、言葉の使い方に対する感覚」に関心をもっているといえる。

- ・多様な詩を読む中で、比喩などの表現や、常体と敬体との違い、表記の仕方などの工夫に気付かせる指導を行う。

(2) 算数科

①主として「知識」に関する問題

<数と計算> ◇整数・小数・分数の計算、四則の混合した計算はおおむねできている。

・計算の技能の習熟や維持を図るために適度の繰り返し練習の機会を設ける。

<量と測定> ◇単位量当たりの大きさの求め方はおおむね理解している。

・場面から数量の関係を捉え、情報を適切に用いることができるようにさせる。

<図形> ◆「作図に用いられている図形の約束や性質を理解している」はできていない。

・図形の約束や性質を理解させる。

・コンパス等を使って作図する活動を取り入れる。

<数量関係> ◆「分数の相等及び大小」については理解していない。

・分数の大きさの実感を伴って理解するよう指導する。

・分数を具体物・図・数直線などを用いて指導する。

②主として「活用」に関する問題

<数と計算> ◇乗法の理解はある。

◇公倍数について理解している。

・計算の結果を見積もったり、見積もった計算の結果を確かめさせたりする。

・日常生活での事象や他教科での場面を取り上げ、規則性を見出させる。

<量と測定> ◇「単位量当たりの大きさ」について理解している。

・数量の大小を説明する際に、課題に応じた説明をする活動を取り入れる。

<図形> ◇条件を基に「長方形を敷き詰める」について理解している。

・示された条件を読み、結果について条件に合っているかどうかを振り返らせる。

・図形を活用することのよさに気付かせる。

<数量関係> ◆「伴って変わる二つの数量の関係を調べる」では、理解していない。

◆「目的に応じて円グラフや帯グラフを用いる」では、理解していない。

・目的に応じて、絵グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフの中から適切なものを選択させる力を養わせるために、それぞれのグラフの特徴をおさえさせる。

2 児童生徒質問用紙の内容別における分析結果と考察

(1) 基本的な生活習慣

◇毎日同じくらいの時間に起きると回答した児童は、県や全国と大きな違いは見られないが、同じくらいの時間に寝ると回答した児童が県や全国を10ポイント以上上回った。

◇携帯電話、スマートフォンの所持率が低く、使用時間も県や全国平均を下回っている。

さらによりよく

・家庭との連携を密にして基本的な生活習慣の確立を図る。

・朝食の必要性や適切な携帯電話等の使用方法について家庭への啓発を行っていく。

(2) 学校生活

◇協力して何かをやり遂げ、うれしかったと答えた児童、先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うと答えた児童が多く、それぞれ県や全国平均を約10ポイント上回った。

さらによりよく

・係活動や行事等で協力して取り組むことの大切さについての意識をさらに高める。

・児童一人一人のがんばりやよさを認める機会をさらに多く設ける。

(3) 言語活動

◇友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができると答えた児童が県や全国より約15ポイント多い。

◇友達の前で自分の考えを発表したり、伝えたりすることができるかという問いに対しても県や全国平均を上回っている。

さらによりよく

・各教科◇領域での言語活動のさらなる充実

・「聞く態度、感想をもつ、自分の考えと比べる」の段階をふまえて指導の徹底

(4) 学習時間等

◇家庭で計画的に学習に取り組んでいる児童が多い。予習・復習をしていると回答した児童が共に少ないことから、宿題が中心となっている事がうかがえる。

◆平日はほとんどの児童が1時間以上学習していると回答している。また、土日は学習時間が県や全国平均より少ない。

◆家庭での読書時間が県や全国平均を大きく下回っている。

さらによりよく

・PTAと協力している「ノーテレビ・ノーゲームデイ」の取組を強化するなど、家庭学習の定着のために保護者の協力を求めていく。

・6年間を見通した家庭学習の手引き等を作成する。

(5) 自尊感情

◇物事を最後までやり遂げて、うれしいと感じたことがあると答えた児童が多い。

◇難しい事でも、失敗を恐れずに挑戦していると答えた児童が多い。

◇自分にはよいところがあると答えた児童が多い。

さらによりよく

・本校経営方針に掲げるめざす子ども像「失敗できる子ども」の育成と失敗をフォローし合える学級づくり。

・何事にもじっくり取り組ませることで、最後までやりぬこうという気持ちを育てる。

・結果だけでなく、取り組んだ過程での良さを見つけての指導。

(6) 将来に関する意識

◆将来の夢や目標をもっていると答えた児童は県や全国平均よりも5ポイント低い。

さらによりよく

・生き方について道徳や特別活動など志教育の核をなす取組をもとに促していく。

(7) 規範意識

◇「学校のきまりを守っているか」「人の気持ちが分かる人間になりたいか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたいか」という質問に対して、当てはまると答えた児童が県や全国平均よりも10ポイント以上高い。

◇友達との約束を守っていますかという問いに対して、全ての児童が当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答をしている。

さらによりよく

・一人一人の居場所がある居心地のよい学級づくりをさらに進めていく。

・周囲に大切にされている、支えられている、認められているという実感をもたせる。

・道徳教育の充実と道徳的実践力の育成を図る。